

『平成23年度新潟・福島豪雨』による阿賀野川(直轄管理 区間)出水の概要をお知らせします。

平成23年7月26日から県内上空に停滞していた前線に、太平洋高気圧から暖かく湿った空気と北のオホーツク海高気圧から冷たく湿った空気が流れ込み、新潟県・福島県の阿賀野川流域に多量の雨を降らせ、阿賀野川では既往最大規模の洪水となりました。

つきましては、今回の洪水の概要を速報としてお知らせします。

なお、本資料は平成23年7月31日現在の速報値であり、今後修正される可能性があります。



【問い合わせ先】

(国土交通省 北陸地方整備局 阿賀野川河川事務所)

副所長(技術) 弘田 英人

工事品質管理官 日野 充人

〒956-0032 新潟市秋葉区南町 14-28

電話 0250-22-2211(代)

<http://www.hrr.mlit.go.jp/agano/>

出水速報(第1報)

平成23年7月31日9:00現在

国土交通省 阿賀野川河川事務所

平成23年

平成23年7月新潟・福島豪雨による阿賀野川出水 の概要

ー 既往最大規模のH16.7.13水害を凌ぐ大出水 ー



(馬下観測所 最高水位 23.79m 7月30日11時50分)

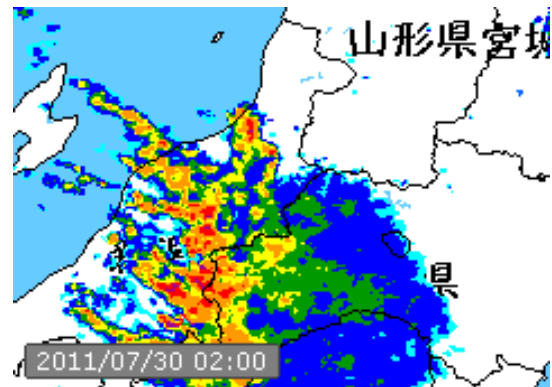
国土交通省 北陸地方整備局 阿賀野川河川事務所

注)本資料における数値については、平成23年7月31日現在の速報値であり、
今後修正される可能性があります。

1. 気象の概要

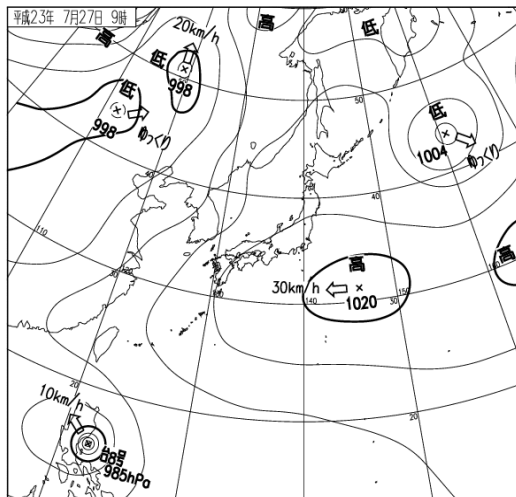
1.1 概況

平成23年7月26日未明から県内上空付近では、朝鮮半島から関東の東に停滞していた前線に、南の太平洋高気圧から暖かい湿った空気、北のオホーツク海高気圧から冷たい湿った空気が流れ込み、前線の活動が活発化した。その結果、積乱雲が次々と発生し、27日夕方から新潟県及び福島県を中心に雨が降り、27日12時から30日10時までの総降水量（アメダス速報値）は、各地で300mmを超える大雨（只見では680mm）となった。

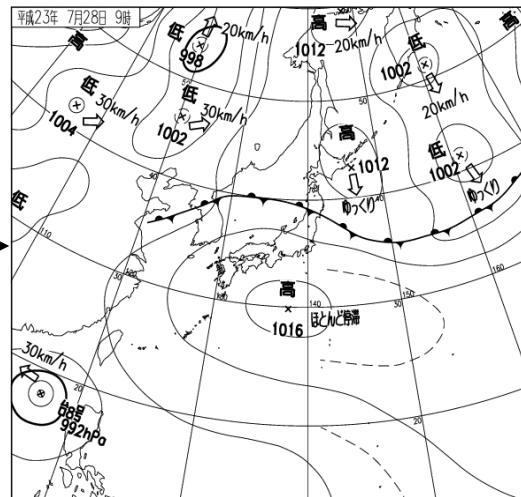


1.2 天気図

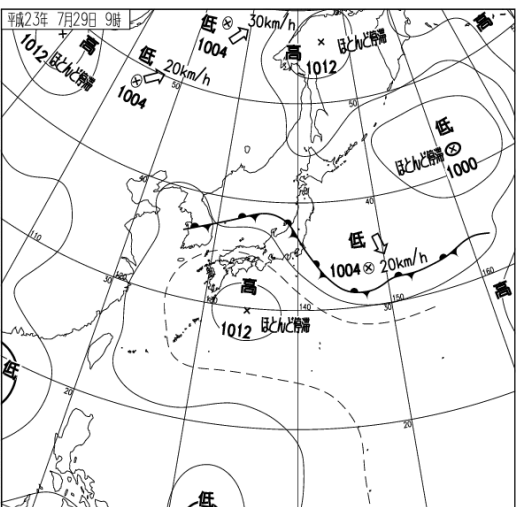
(1) 7月27日 9:00 天気図



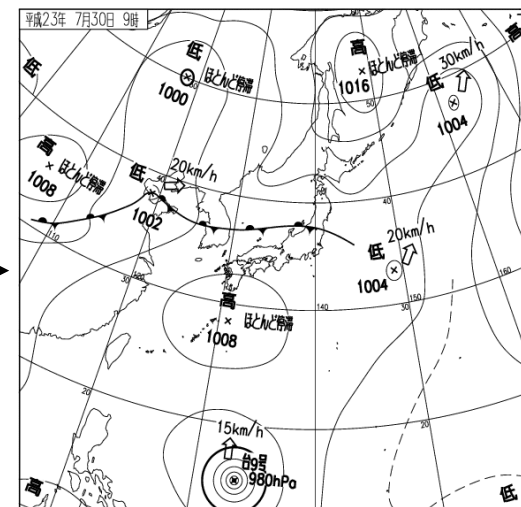
(2) 7月28日 9:00 天気図



(3) 7月29日 9:00 天気図



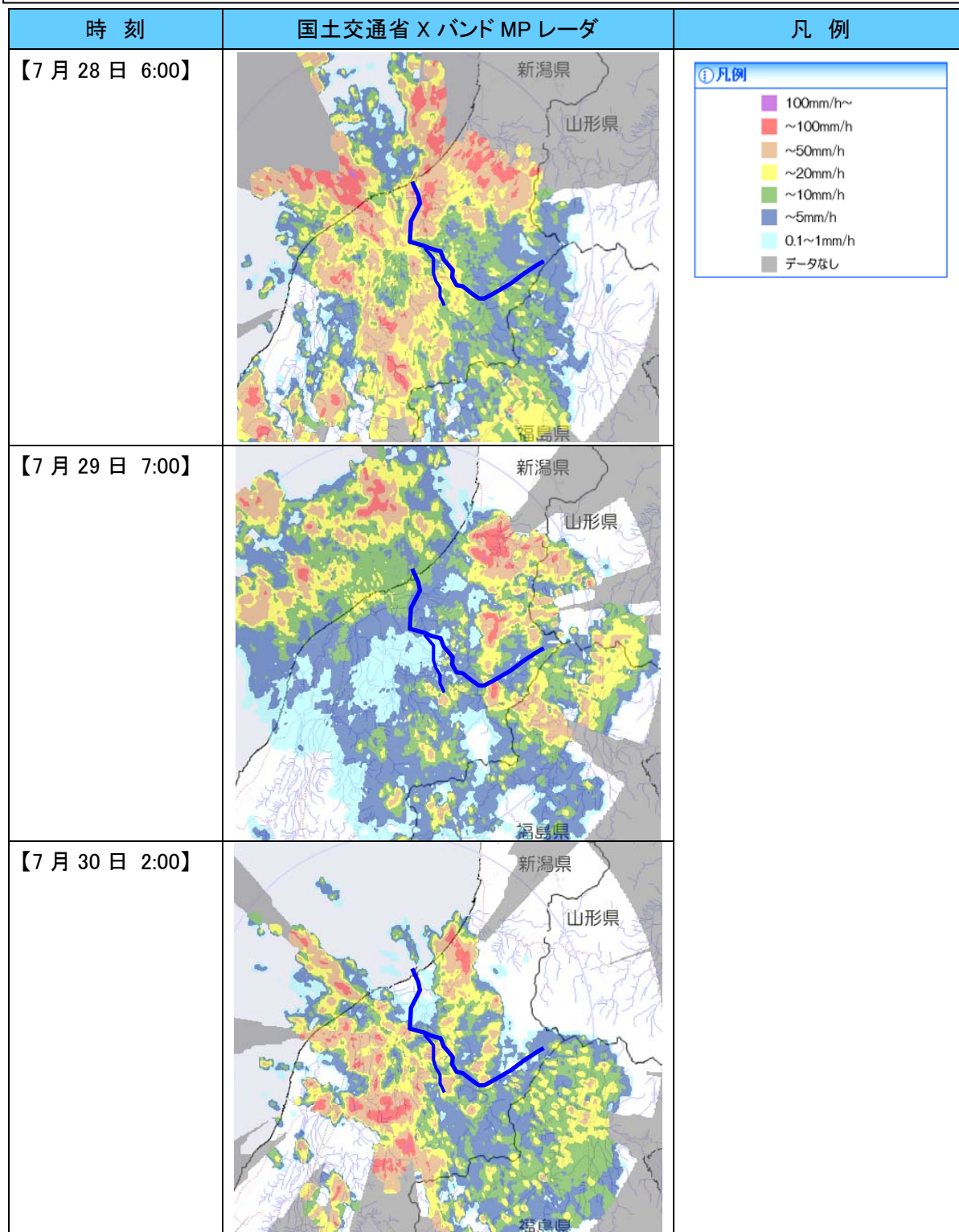
(4) 7月30日 9:00 天気図



※ 天気図は、新潟地方気象台HPより引用

1.3 レーダ雨量推移

阿賀野川下流域：流域平均雨量 286mm（28日4時から30日3時まで）
 阿賀野川上流域：流域平均雨量 136mm（ " ）
 早出川流域 ：流域平均雨量 383mm（ " ）
 ※只見 680mm、阿賀町室谷 379mm、津川 360mm（28日～30日）



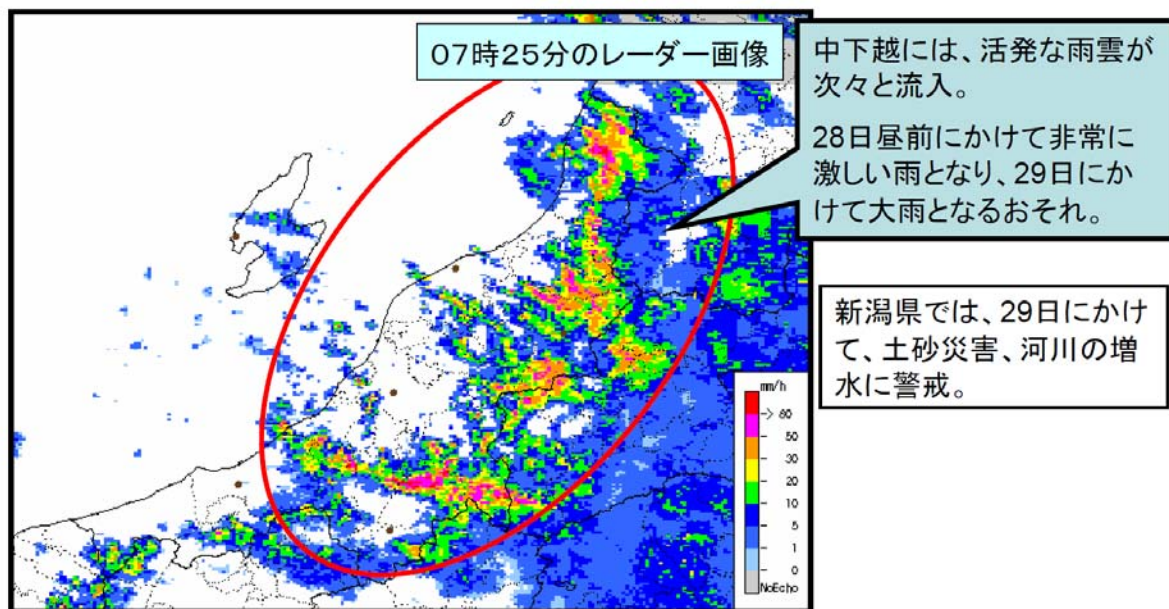
1.4 気象情報

大雨と雷及び突風に関する新潟県気象情報 第4号

平成23年07月28日 07時52分 新潟地方気象台発表

十日町市・長岡市・小千谷市・魚沼市に土砂災害警戒情報を発表中。土砂災害に厳重に警戒。

上中下越では土砂災害や浸水に警戒。新潟県では、落雷、竜巻などの激しい突風に注意。



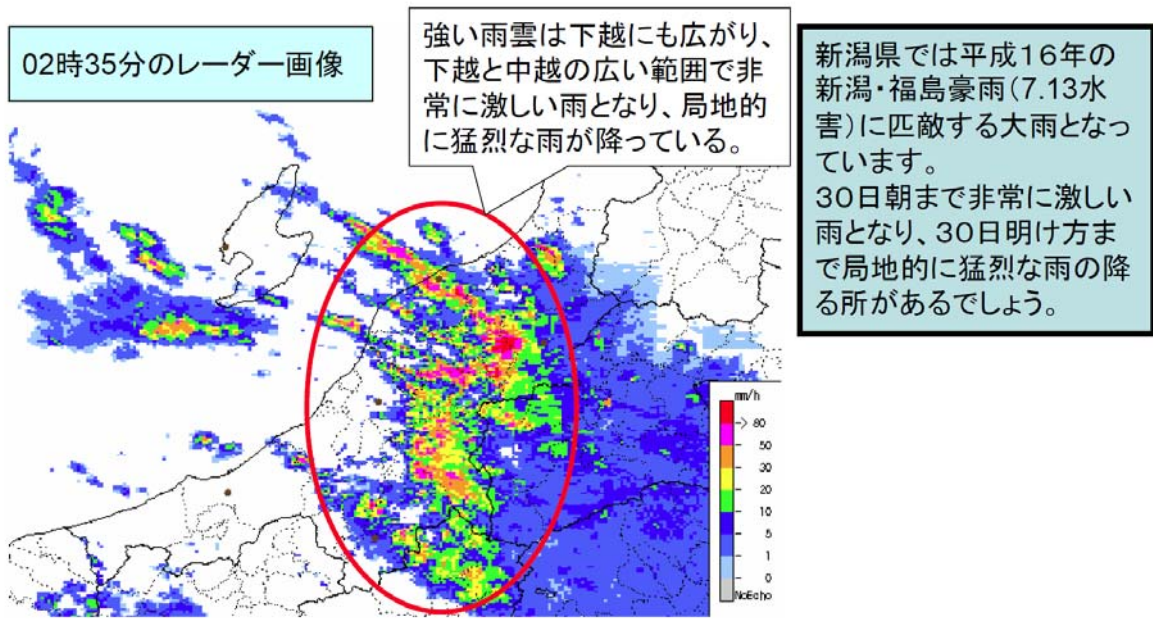
※ 新潟地方気象台HPより引用



大雨と洪水に関する新潟県気象情報 第22号

平成23年07月30日 02時50分 新潟地方気象台発表

中下越では猛烈な雨を観測。中越では降り始め(27日12時)からの総降水量が400ミリを超えた。土砂災害、河川のはん濫、低地の浸水に最大限の警戒。



※ 新潟地方気象台HPより引用

2. 出水状況

2.1 出水概要

新潟県及び福島県では、活発化した前線の影響により、降り始めからの総雨量が福島県只見町で680mmを記録するなど各地で平成16年7月13日水害を上回る大雨となった。その結果、阿賀野川満願寺・馬下観測所でははん濫危険水位を超過、早出川善願観測所で避難判断水位を超過する出水となった。

観測所名	最高水位	基準水位
満願寺観測所	9.35m(7/30 8:10,9:20,9:40)	>8.70m(はん濫危険水位)
馬下観測所	23.79m(7/30 11:50)	>22.80m(はん濫危険水位)
善願観測所	15.45m(7/30 12:20)	>14.50m(避難判断水位)

2.2 既往出水との比較

各観測所における今回の出水（着色箇所）と平成以降の上位1～3位の出水を比較した結果を以下に示す。また、参考として満願寺・馬下観測所では昭和31年、33年出水記録、善願観測所では昭和42年、53年出水記録を示す。

■満願寺観測所

発生年月日	最高水位 (m)	最大流量 (m ³ /s)
※1 H23.7.30	9.35	調査中
※2 H16.7.13	8.63	8,662.34
H14.7.11	8.08	6,927.77
H7.8.3	7.93	5,693.15

〔参考〕

S31.7.17	9.50	欠測
S33.9.19	10.00	8,929.79

■馬下観測所

発生年月日	最高水位 (m)	最大流量 (m ³ /s)
※1 H23.7.30	23.79	調査中
※2 H16.7.13	22.71	7,892.12
H14.7.11	21.90	5,725.14
H10.9.16	21.55	5,725.14

〔参考〕

S31.7.17	23.80	7,777.42
S33.9.19	24.80	8,929.79

■善願観測所

発生年月日	最高水位 (m)	最大流量 (m ³ /s)
※1 H23.7.29	15.45	調査中
H12.7.16	15.12	1,219.94
H16.7.13	14.85	1,172.99
H10.8.4	14.04	764.65

〔参考〕

※3 S42.8.29	13.70	1,610.71
-------------	-------	----------

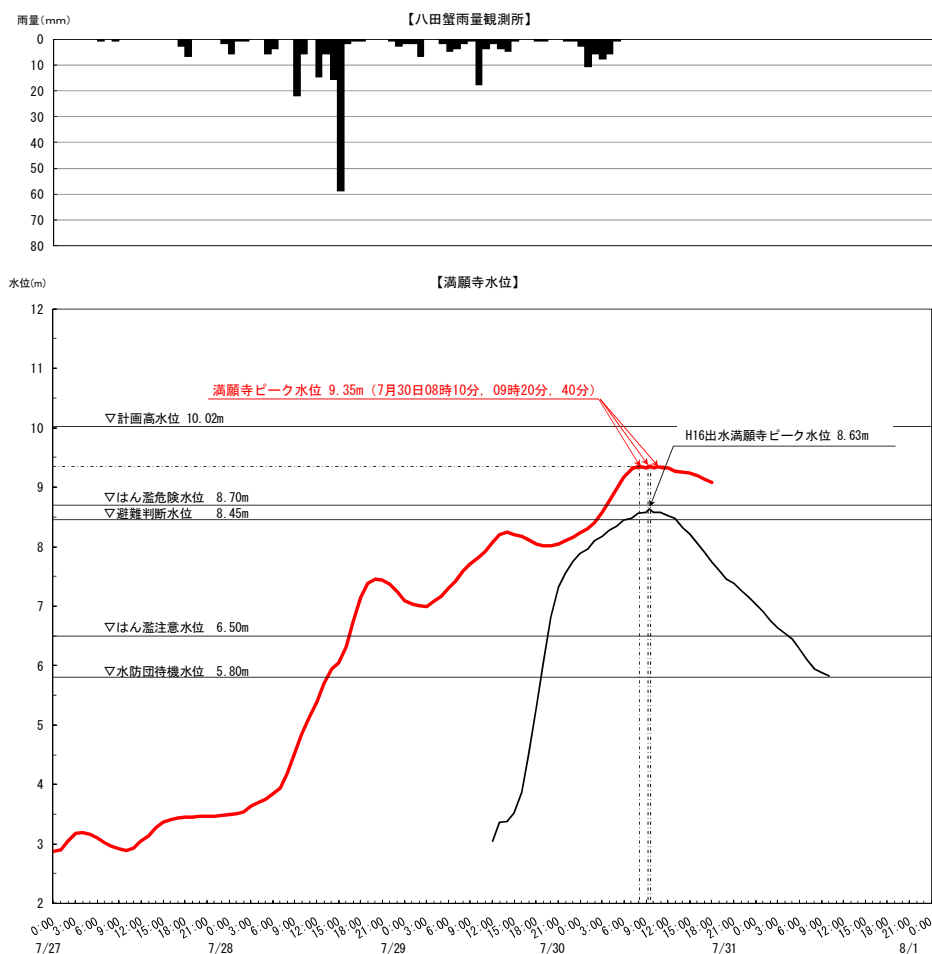
※1 今回出水の水位は統一河川情報による

※2 H16 高水速報の速報値を引用

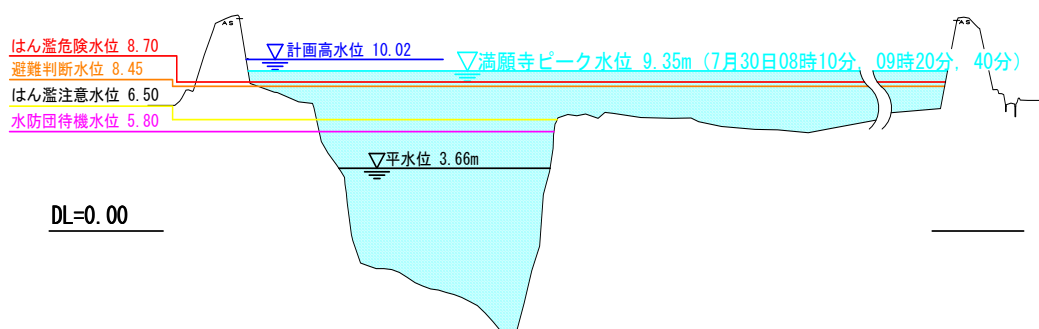
※3 早出川捷水路改修前の数値を示す

口阿賀野川 満願寺観測所

①雨量・水位グラフ



②出水状況図



③出水前後の状況(左:出水前 右:出水後)

6月16日 11:30

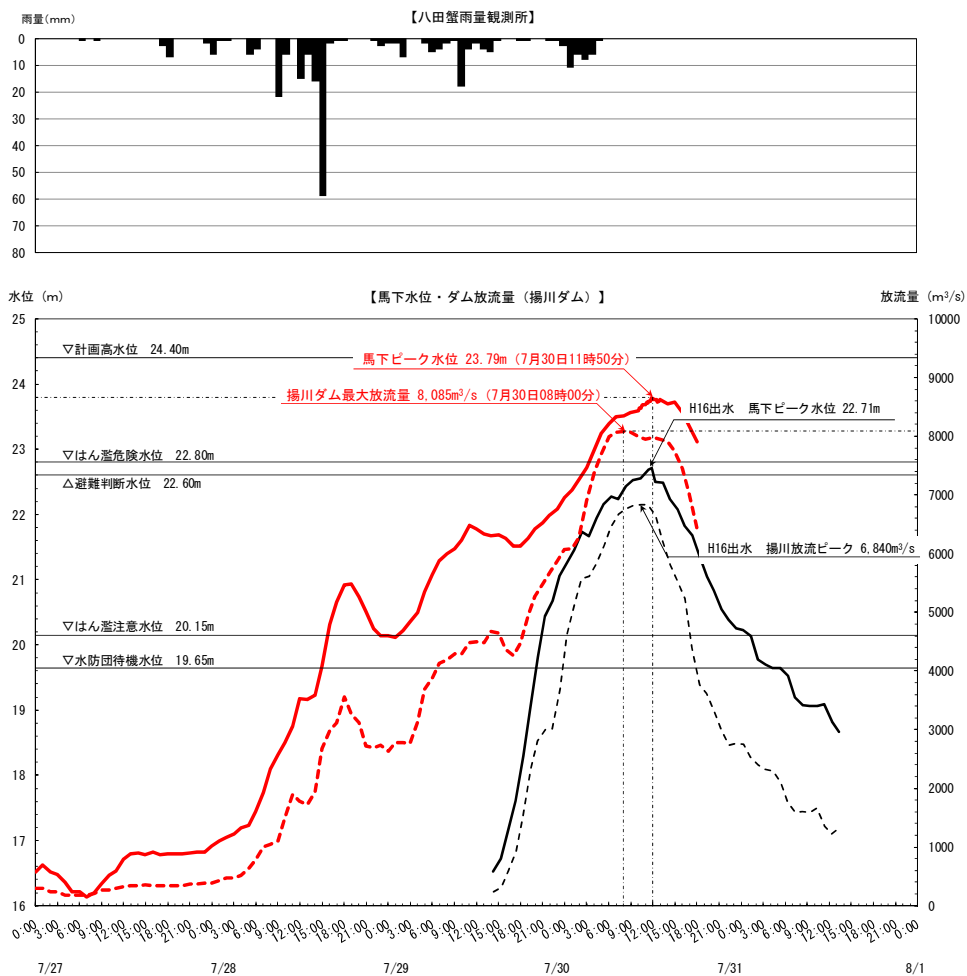


7月30日 12:40

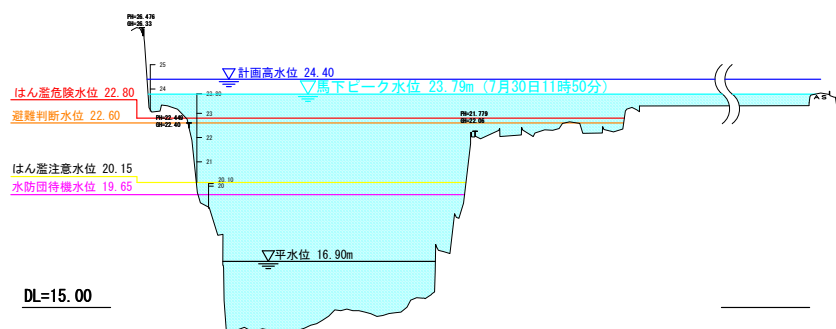


口阿賀野川 馬下観測所

①雨量・水位グラフ



②出水状況図



③出水前後の状況(左:出水前 右:出水後)

7月22日 10:50

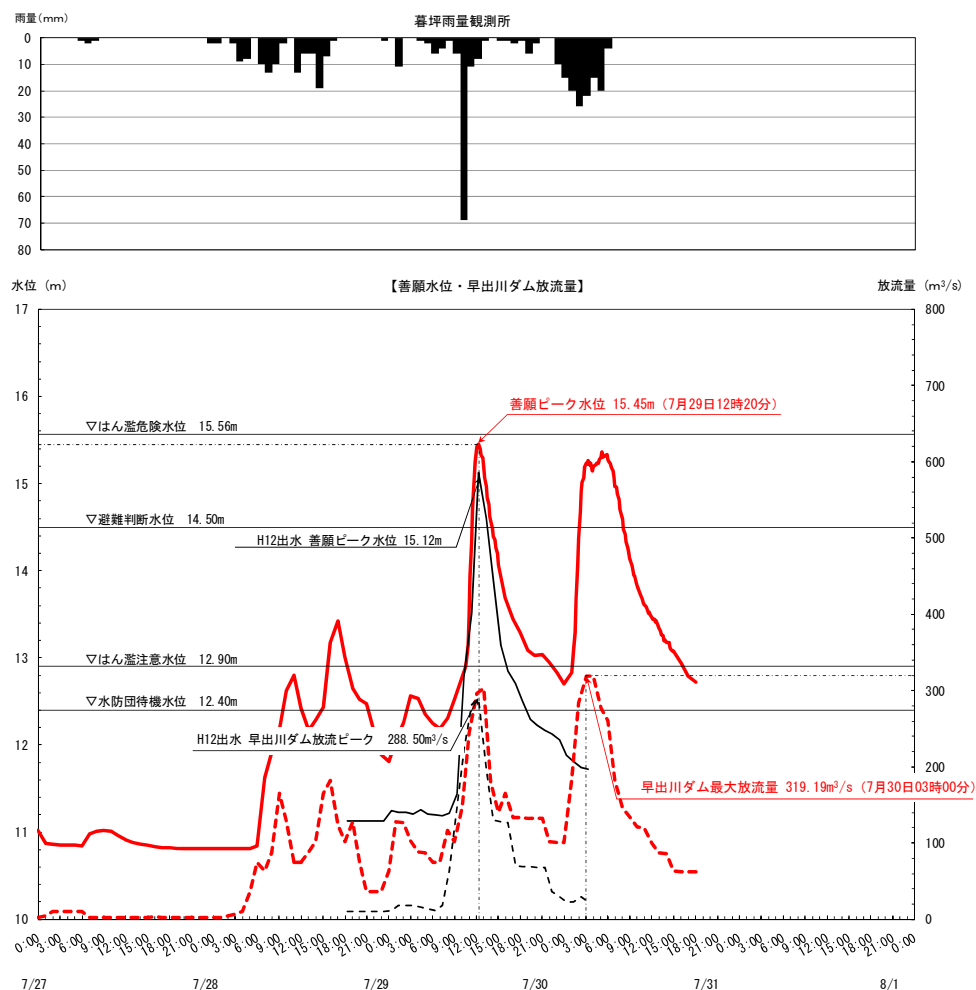


7月30日 13:30

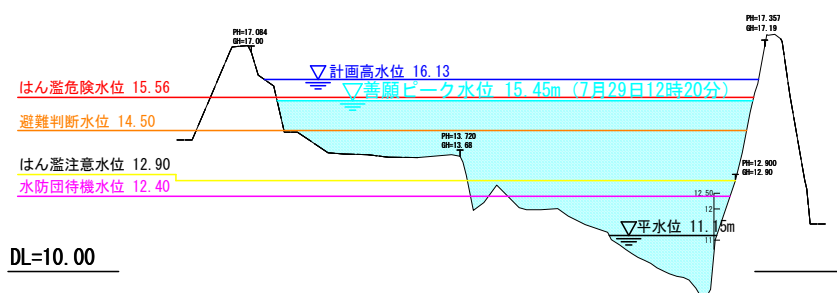


口早出川 善願観測所

①雨量・水位グラフ



②出水状況図



③出水前後の状況(左:出水前 右:出水後)

6月16日12:10



7月30日5:30



3. 被害状況

3.1 堤防漏水被害



L6.0 付近 堤防背面法先部からの漏水状況



L6.0k 付近 堤防背面からの漏水状況

3.2 堤防法崩れ



L19.4k 付近 六郷川裏法崩れ状況



L29.2k 付近堤防川表法崩れ

3.3 内水被害



L22.2k 付近 堤内地の浸水状況



早出川 R2.0k 堤内地浸水状況



早出川支川太田川（五泉市太田）
堤防際道路冠水状況



早出川支川太田川（五泉市太田）浸水状況
五泉市太田川浸水状況堤①



早出川支川太田川（五泉市太田）
五泉市太田川浸水状況②



早出川支川太田川（五泉市太田）浸水状況
五泉市太田川浸水状況③



早出川支川太田川（五泉市太田）
五泉市太田川浸水状況④

※浸水状況写真は、五泉市より提供

4. 応急対応

(1) 土のう積み(浸水防止)



R0. 2k 付近

(2) シート張り(堤防裏法崩れ防止)



L18. 4k 付近



L18. 4k 付近



L19. 4k 付近



R20. 4k 付近

(3) 月の輪工(法尻漏水防止)



L20.4k 付近



L19.0k 付近



L19.0k 付近



19.0k 付近

(4) 3者覚書による水防活動(土のう積み工)

J R 羽越本川阿賀野川橋梁右岸部の堤防高が不足している箇所において土のう積み工を実施した。



R18.2k 付近

覚 書	
阿賀野市高瀬島地先《羽越本線阿賀野川橋梁》において、堤防高が不足しており、当分の間、出水期における水防活動に万全を期するため、下記のとおり合意したので、国土交通省阿賀野川河川事務所長（以下甲という。）と東日本旅客鉄道株式会社新潟支社長（以下乙という。）と阿賀野市長（以下丙という。）は下記のとおり覚書を取りかわす	
記	
1.	甲は、乙に対し水防開始準備を、丙に対し水防警報（満潮寺水位観測所警戒水位以上）を発するものとする。
2.	乙は、羽越本線阿賀野川橋梁部における阿賀野川水位を把握するとともに、甲が発する水防活動開始情報により、列車の運行規制の実施ならびに安全確認者を配置するものとする。
3.	丙は水防活動の万全を期するため、水防計画を策定するものとする。
4.	甲、乙、丙は出水時における情報伝達系統を整備する。また毎年、出水期前に現地状況ならびに水防資材の保有量の確認を行う。
この覚書を証するため、本書3通を作成し記名押印のうえ、それぞれ1通を保有する。	
平成18年12月14日	
甲	国土交通省阿賀野川河川事務所長 野田 猛
乙	東日本旅客鉄道株式会社 新潟支社長 荒井 修
丙	阿賀野市長 本田 富雄

5. 市町村等への支援

(1) 概要

- 五泉市粟島地先において湛水発生
- 五泉市からの要請を受け、7月30日9:45から 排水ポンプ車が稼働

(2) 位置図



(3) 作業状況



6. その他

①支部体制(事務所内の作業状況)



②洪水時巡視



③施設点検



④被害状況の迅速な把握に備え、衛星小型画像伝送装置の設営準備



⑤ラジコンヘリによる洪水時空撮



⑥流量観測作業

